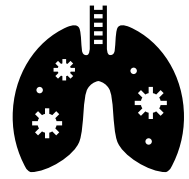


結核について ～施設職員の皆さまへ～

結核は、過去の病気ではありません

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。
日本では、毎年約 **10,000 人** が新たに結核を発症し、
約 **1,400 人** が結核で亡くなっている、まだまだ身近な病気です。



結核の症状

風邪のような症状(2週間以上続く咳や痰、発熱、胸痛、呼吸困難など)が続きます。
高齢者は、「咳」や「痰」などの特徴的な症状が現れにくく、気づかないうちに病気が進行してしまうことがあります。

高齢者は、こんな症状にも注意！



食欲がない

なんとなく元気がない

体重が減る

微熱が続く

どうやってうつる？

菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」と一緒に、結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことでうつります。これを『空気感染』といいます。

POINT



結核菌に「感染」しても、すべての人が「発病」するわけではありません。
健康であれば、免疫の働きによって結核菌を抑え込んでしまい、「発病」しません。

結核になりやすい人は？

免疫力が下がる病気にかかっている人、
高齢者、乳幼児は発病しやすいです。

<免疫力の下がる病気や要因>

- ☐ 慢性腎不全・人工透析を受けている
- ☐ 糖尿病
- ☐ ステロイド剤や抗がん剤による治療を受けている
- ☐ HIV 感染

結核の発生動向

全国の状況

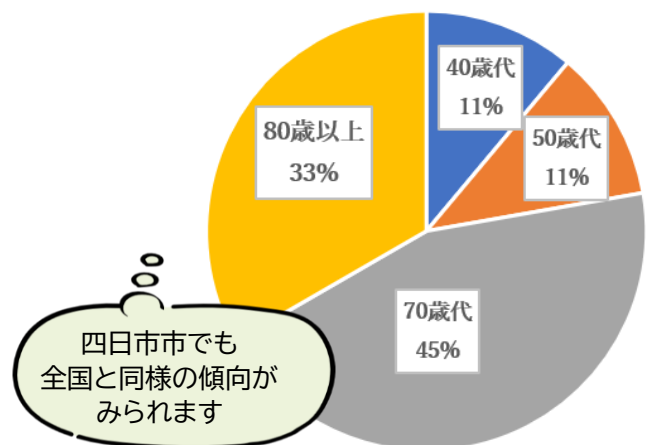
- ✓ 新登録結核患者数は減少している
- ✓ 結核患者は高齢者に多い
新登録結核患者の約 6 割が 70 歳以上の高齢者
- ✓ 若年の外国生まれの患者の割合が増加している
新登録結核患者の約 2 割が外国生まれの患者

高齢者の結核

日本では昭和初期に結核が流行していたため、結核に感染していた高齢者が多くいます。
結核菌に感染していても免疫システムで抑え込んでいるため若いうちは無症状で経過し、長い潜伏期間を経て、高齢となり免疫が低下してきた際に発病することが多いです。

四日市市の状況

新登録結核患者の年齢別割合(2025 年)
※外国生まれの患者を除く



結核は、早期に「発病」に気づいて受診し、適切な治療を受けることが大切です

施設職員向け 結核 Q&A



1

Q 結核になったら入院するの？ 職員の場合、働くことは無理？

A 人に感染させるほどの多量の菌を排出していれば、入院隔離による治療、就業制限が必要です。個人差がありますが、入院しても、1～2か月くらいきちんと服薬すれば、菌が排出されなくなり、退院し、外来治療になります。もともと、感染させる恐れのない結核は外来治療が可能であり、仕事も制限されません。

2

Q 結核になったらどのような治療を受ける？

A 複数の薬を6～9か月内服します。薬をきちんと飲めば治る病気です。薬を自己中断してしまう人がいますが、薬の効かない結核菌になる可能性があります。治療が終わるまで、医療機関と保健所が連携をして服薬を支援します。職員の皆さまとも連携をさせていただく場合もございますので、ご協力をお願いします。



3

Q 結核患者が使用した部屋や寝具、衣類などは消毒が必要？

A 消毒の必要はありません。床に落ちた菌や衣類カーテン、食器などについた菌からは感染することはありません。窓を開けて換気を行い、通常の掃除や洗濯、食器洗いで十分です。患者さんの物を処分したりする必要はありません。患者さんを傷つけないように対応しましょう。

4

Q 利用者の方が結核疑いになったらどうしたらいい？

A 結核の疑いがある方には不織布マスクをしてもらい、個室等へ移ってもらいます。職員が個室へ入る時は、N95 マスクを着用しましょう。顔の表面とマスクの間に隙間ができないよう正しく着用することが大切です。※ガウン、ゴーグル等の PPE は不要です。対応について心配なときは、保健所までご相談ください。※結核患者が明らかになった場合は、保健所より接触者についての調査をさせていただく場合がございますので、ご協力をお願いします。



結核は、早期発見が大切です！

利用者の早期発見・早期治療のために

利用者の受け入れ時

- ・胸部エックス線検査の結果、既往歴や合併症を把握、記録を残しましょう。

利用者の健康管理

- ・利用者の健康状態を把握し、体調の変化に早く気付くことが大切です。
- ・呼吸器症状だけではなく、「食欲がない」「体重が減る」「発熱」などの状態が続く場合は、受診を勧めましょう。
- ・認知症などの方は自覚症状の訴えがない場合があり、結核の発見の遅れとなりやすいので、丁寧な健康観察を行いましょう。
- ・年1回は胸部エックス線検査の結果を把握し記録に残しましょう。



施設で働く皆さまの健康を守るために

- ・年1回は胸部エックス線検査を受けましょう。（入職時においても）再検査が必要な場合は、必ず精密検査を受けましょう。
- ・たばこを吸わない、バランスのよい食事など、日ごろから健康管理に注意し、結核を疑う症状があれば早期に医療機関を受診しましょう。

四日市市の肺がん検診・結核健診について

●対象者●

四日市市にお住まいで、職場などで胸部エックス線検査を受ける機会のない40歳以上の方

問い合わせ先：健康づくり課
電話：059-354-8282
受付時間/午前 8:30～午後 5:15
(土日祝・12/29～1/3 を除く)

詳細はこちら→



四日市市保健所 保健予防課 保健予防係
四日市市諏訪町 2 番 2 号
電話：059-352-0595

四日市市保健所
結核について→

